

# 第39回「議員と語り合い」報告書

総務環境常任委員会 (No.1)

開催日	令和4年11月17日 15時 ~ 16時30分		
開催場所	議会棟4階 第3・4委員会室		
団体名	第一工科大学 SDGs研究会	参加人員	11人 (男 6人:女 5人)
出席議員	宮田 竜二、今吉 直樹、松下 太葵、藤田 直仁、松枝 正浩 前島 広紀、有村 隆志、仮屋 国治、宮内 博		
役割分担	班 長 (宮田 竜二) 副班長 (今吉 直樹) 記録係 (松枝 正浩)		
テーマ及び具 体的な内容	学生が輝く霧島 霧島の若者や留学生が安心できる居場所を作るにはどうしたらよいか意見交換 したい。		

意見 交 換 で の 主 な 意 見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◇第一工科大学の学生数と留学生の数はどのくらいか。
	◆大学生の数は、総数で1,000名。その約1割が留学生となっている。
	◇どのようなサービスを受けることができなかつたのか教えて欲しい。
	◆病院での診察で、日本語が通じなかつたり、市役所では、在留カードや住所変更の届け出が難しかった。中国では、QR決済が主流で、日本では、全部現金で支払わないといけな い状況がある。
◇市役所に国際交流を担当する部署があり、交際交流員が配置されている。中国語を話せる 方もおり、相談をすれば対応できる。また外国人のための生活ガイドブックも6か国語で 作成されている。ガイドブックを見たことがあるか。	
◆ガイドブックを見たことがない。	
◇留学生との意思疎通を図るため、国際交流員の方に同席いただきたい。 (市へ要請を行い、意見交換中に市職員と国際交流員が同席する。)	

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な意見等

- ◇留学生に対する大学側の支援体制はどのようになっているか。
- ◆大学内に、留学生の勉強と生活のお世話をするための国際交流センターが存在しています。センター長と事務員の2つのポストが空席となっている。留学生への情報提供が十分になされていない状況にある。
- ◇国際交流協会もあるため、連携をされて、人材確保へも繋げられるのではないか。
- ◆国分隼人から鹿児島中央までバスを利用するが、遅れたり、乗りたい時間帯にバスがないといったことがある。
- ◇現在の交通機関では、電車を利用されるのも良いのではないかと考える。
- ◇観光客だけではなく、市と大学が連携をして、学校と駅や店舗を結ぶ移動手段としてのレンタサイクル設置で、霧島市を堪能してもらい、お店の情報などを発信してもらうなど、メリットもあり、良い取組になるのではないかと考えている。
- ◇レンタサイクルは、大隅横川駅などに設置がされている状況がある。皆さんの思いを伝える場として、8月に青少年議会が開催されている。この場で、思いを伝えることもひとつの方法でないかと考える。
- ◇隼人駅東口が整備完成後、国分隼人間の循環バスが走ると良いと考えている。現実的には、需要があるのかも必要となってくる。街の成長と共に一緒に考えていけたらと思っている。
- ◇留学生のマップとは、どのような内容であるのか。
- ◆食事をする場所やレストラン、また日用品など、よく使う物を売っている場所が載っているものである。
- ◇案内役であるコンシェルジュ的なサービスがないとのことであるため、大学やサークル、公的なサービスなど、検討課題が論点であるように感じた。
- ◇霧島商工会議所が、お店マップを作成されている。外国語対応ではなかったが、活用はできるものとする。
- ◇高齢者による料理教室や、退職をされた方との触れ合いもひとつの方法である。第一工科大学の先生で、日本語教室をされている方もおられる。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇学生自身が、居場所づくりの活動も行って欲しい。リノベーションまちづくりや、子ども食堂などの活動もコミュニケーションを図る良い機会である。

◇国際交流員が市役所へ配置されているので、他の留学生の方へも情報共有を行って欲しい。

◇困っていることから、新しいサービスが生まれる。それを機に新しいアプリケーションなどの開発に繋がる。霧島市は、創業支援も行っている。仕組みを作る側で活躍する考え方もある。そのような場での活躍も期待をしている。

意見交換での主な意見等